

科目名 (科目番号)	生体機能代行装置学基礎実習 (112163)	教員名 中原 毅 渡邊 晃広	学科等	医療技術	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		前期火3 後期水3	B305研究室	
授業概要	生体機能代行装置には概論で学んだ種々の代行装置があるが、ここでは代行装置の基礎実習として臨床工学技士業務の大きな割合を占めている血液浄化の領域において、ダイアライザと血液回路の組み立てやプライミング技術を中心に実習を行う。また血液の流れと透析液の流れやこれに伴う漏血や気泡混入、回路内圧、透析液濃度・温度などをモニタ機器を使用して動作確認を行う。さらに種々の患者監視装置の操作と点検などについても実習で行う。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	実習ガイダンス	血液浄化装置実習における留意事項やレポートの書き方を理解する。				
	2	装置の扱い	透析用患者監視装置のしくみや動作、モニタリング装置について理解する。				
	3	プライミング練習(I)	血液回路、ダイアライザの取り付け、液置換、エア除去など一連のプライミング技術を習得する。				
	4	プライミング練習(II)	血液回路、ダイアライザの取り付け、液置換、エア除去など一連のプライミング技術を習得する。				
	5	透析液供給装置、水処理装置	患者監視装置以外の血液透析のシステム(透析液供給装置や水処理装置)の管理や保守について技術を習得する。				
	6	トラブルシューティング	血液浄化治療中のトラブルについて理解し、処置や対応についての手技を習得する。				
	7	アフエレーシス	血漿交換、二重濾過法、血漿吸着療法、直接血液灌流法、白血球除去療法などのアフエレーシス技術と回路構成について理解する。				
	8	透析用患者監視装置の保守点検	透析用患者監視装置の保守点検の実際を理解し、手技を習得する。				
成績評価の方法・基準	実習レポート(100%)						
教科書	臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置		竹澤真吾 出淵靖志		医歯薬出版		
参考図書	血液浄化療法ハンドブック 2015		透析療法合同専門委員会		協同医書出版社		
教員からのメッセージ	血液浄化装置の回路の取り付けやプライミングは病院実習でも実際に行うことがあります。気を引き締めて正しい手順を身につけてください。レポートはコメントを付して返却します。						